

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【公開番号】特開 2004-46211 (P2004-46211A)
 【公開日】平成 16 年 2 月 12 日 (2004.2.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-006
 【出願番号】特願 2003-270324 (P2003-270324)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 G 15/00

B 4 1 J 29/00

【F I】

G 0 3 G 15/00 5 5 0

B 4 1 J 29/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 6 月 24 日 (2004.6.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

印刷装置内の輸送用インサートの存在を検出する方法であって、
 前記印刷装置の定着システム出口で印刷媒体が検出されたかどうかを判定することと、
 前記印刷装置の前記定着システム出口で印刷媒体が検出された場合に、前記印刷装置の
 ページ・カウントがゼロかどうかを判定することとを含み、
 前記ページ・カウントがゼロの場合に、前記印刷装置内に前記輸送用インサートが存在
 することが確定されることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記印刷媒体が検出されたかどうかを判定することは、
 印刷媒体が印刷媒体検出要素を含む検出手段により検出されたかどうかを判定すること
 を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記印刷媒体検出要素は、印刷媒体の存在を示す第 1 の位置と、印刷媒体の存在しない
 ことを示す第 2 の位置とに位置決めされるように構成されたフラグであることを特徴とす
 る、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記輸送用インサートの存在を示す手段を提供するために、輸送用インサートと連動す
 る検出要素接触部材によって前記フラグを前記第 1 の位置に保持することをさらに含むこ
 とを特徴とする、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記検出要素接触部材は、前記輸送用インサートの一部を含むことを特徴とする、請求
 項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記輸送用インサートは、前記印刷装置の定着システムの分離機構に付設されることを
 特徴とする、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記輸送用インサートは、前記分離機構のレバーに付設されることを特徴とする、請求

項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

印刷装置において、

定着ローラと加圧ローラを分離する分離機構を含む定着システムであって、印刷媒体の検出を促進するように構成される印刷媒体検出要素をさらに含む、定着システムと、

前記分離機構に付設される輸送用インサートであって、前記検出要素を印刷媒体の存在を示す第 1 の位置に保持し、かつ前記輸送用インサートが除去されるときに、前記定着ローラおよび前記加圧ローラが互いに向かって十分に付勢される第 2 の位置に前記分離機構を切り替えるように構成される、輸送用インサートと、

印刷媒体が前記定着システムで検出されたかどうかを判定するように構成されたロジック、および印刷装置のページ・カウントがゼロかどうかを判定するように構成されたロジックを含む輸送用インサート検出モジュールを備えるメモリと

を備えることを特徴とする、印刷装置。

【請求項 9】

前記定着システムの前記分離機構は、前記ローラの相対位置を調整するために用いられるレバーを備えることを特徴とする、請求項 8 に記載の印刷装置。

【請求項 10】

前記輸送用インサートは、前記定着システムの前記分離機構に付設されるようになっている本体部分と、前記定着システムの前記検出要素を印刷媒体の存在を示す位置に保持するようになっている検出要素接触部材とを備えることを特徴とする、請求項 8 に記載の印刷装置。